湖南市
林福連携の事業展開に向けた
同志社大学ワークショップ

同志社大学真山ゼミ　東嶋那奈
馬場音宇
松野光沙
松井麻衣

令和４年３月１９日

こにゃん木の駅プロジェクトについて

■活動の概要

✓ 湖南市の森林組合が管理する山から丸太を搬出し、薪にして**地産地消エネルギーとして利活用**。

✓ 原木の搬出や薪割り作業を行い、**地域で木質バイオマス燃料を安定供給できる仕組みづくり**を目指すとともに、活動を通じて湖南市の健全な森林と温暖化防止、そして森林資源と人的資源を活用した地域活性化を図る。

1/15
●原木伐採、搬出
●薪割りを実施

こにゃん木の駅プロジェクトについて

1/15
- 原木伐採、搬出
- 薪割りを実施

ワークショップでの成果・気づき

- 木を切ることがどれだけ大変で労力がかかるものなのか実感することができた。
- 伐採する瞬間を近くで拝見してみて、とても迫力があり、木が生きていると感じました。運搬体験では、一本の木が想像していた以上にかなり重く、運搬作業に時間がかかってしまう理由を身をもって知ることができました。
- 木を切るだけでも、工夫していることが多くあることを知った。また、木を何等分にもしているのに、実際に持つとあんなに重いと知り、驚いた。
- 薪割り体験後のお話で、一本の木をすべて薪にするまでに時間もかかり、大変にも関わらず、昔に比べてお金にかえると非常に安くなってしまうということが残念であると思いました。これらの体験を踏まえて林業、林福について考察していきたいです。

林福連携ワークショップ（湖南市）

＜森林資源として活用できそうなモノ・コト＞

- 先日の林業体験や自身の大学で学んだ内容、日々を過ごしてきた感覚で、どういったモノ・コトが森林資源として販売することができるか。※できるだけ多く記入。

- 事前資料を参考に、単にモノ・コトを販売するではなく、クラウドファンディングやふるさと納税等。各々のネットワークを活用して、どのような付加価値を付けられるか（どのような人たちに共感）してもらえるか。

- 資料をグループ内で共有し、アイデアをブラッシュアップ。

森林資源を活用して販売できそうなモノ・コト

・表札や選挙の掲示板での利用

・木の色紙(卒業記念品やお別れのシーンで利用してもらう)
→レーザープリンターでデザインをいれることも可能
→体験型のオリジナルグッズでの販売

・林内アスレチック・アウトドア・キャンプでの利用
→密を避けることができるのでコロナ禍でも利用可能

これらをより多くの人に知ってもらうには？

・YouTube上での宣伝

・森林の専門家と大学生が協働で行うSNSでの発信

ご清聴ありがとうございました